

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 11 陣の記録

日本語コミュニケーション・日本文化交流

対象国：タイ、フィリピン、ラオス

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、タイ、フィリピン、ラオスから日本語を学習している学生及び引率者 45 名が、2018 年 11 月 6 日～11 月 13 日の日程で来日し、「日本語コミュニケーション・日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、東京都内での講義を聴講後、国別に 3 つのグループに分かれ、大阪府、奈良県、三重県、岐阜県、千葉県をそれぞれ訪問し、テーマに関連した施設訪問、地域の産業、企業、名所等の視察、学校交流、ホームステイを行い、訪問地域の人々との交流や意見交換を行いました。また、日本人との交流を通して日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】 3 か国・45 名（内訳）タイ 15 名（高校生・引率者）、フィリピン 17 名（高校生・引率者）ラオス 13 名（高校生と大学生）

【訪問地】 東京都、大阪府・奈良県・三重県（ラオス）、岐阜県（タイ）、千葉県（フィリピン）

2. 日程

- 11月6日（火） 来日、【オリエンテーション】
 【文化視察】江東区深川江戸資料館（タイ）
 葛西臨海水族園（ラオス）
- 11月7日（水） 【最先端技術視察】日本科学未来館（タイ）
 【文化視察】江戸東京博物館（フィリピン）、浅草寺（ラオス）
 【日本理解講義の聴講】東海大学講師 アンドラディ 久美 氏
- 11月8日（木） 東京都から地方へ移動
 タイ：【地域概要の聴講】岐阜県庁
 【学校交流】岐阜県立岐阜総合学園高等学校
 フィリピン：【学校交流】千葉県立大原高校
 ラオス：【地域産業視察】カップヌードル・ミュージアム（安藤百福
 発明記念館）
- 11月9日（日） タイ：【文化体験】和菓子作り（於：金蝶園総本家）、奥の細道む
 すびの地記念館、茶の湯、居合、伝統舞踊
 【ホームステイ】大垣市周辺
 フィリピン：【文化体験】太巻き寿司づくり

- 【文化視察】行元寺「波の伊八」(彫刻)
 【地域企業視察・乗車体験】いすみ鉄道
 【表敬訪問】いすみ市長、【ホームステイ】いすみ市内
 ラオス：【学校交流】大阪学院大学、【文化視察】東大寺、
 【ホームステイ】宇陀市周辺
- 11月10日(月) タイ：【ホームステイ】大垣市周辺
 フィリピン：【ホームステイ】いすみ市内
 ラオス：【ホームステイ】宇陀市周辺
- 11月11日(火) タイ、フィリピン、ラオス：【ホームステイ】、
 【地域住民・関係者との歓送会】、【ワークショップ(報告会準備)】
- 11月12日(水) 地方から東京都へ移動、【成果報告会】
 【文化視察】明治神宮・原宿(フィリピン)
- 11月13日(木) 【文化視察】浅草寺(タイ)、帰国

3. プログラム記録写真

3か国(訪問地：東京都)

	
11月6日【オリエンテーション】	11月6日【文化視察】 江東区深川江戸資料(タイ)
	
11月6日【文化視察】東京江戸博物館 (フィリピン)	11月7日【文化視察】浅草寺(ラオス)

	
11月7日【日本理解講義の聴講】	11月12日【成果報告会】タイ発表
	
11月12日【成果報告会】フィリピン発表、ラオス発表	
タイ（訪問地：岐阜県）	
	
11月8日【学校交流】岐阜総合学園高校	11月8日【学校交流】岐阜総合学園高校
	
11月8日【地域概要の聴講】岐阜県庁	11月9日【文化体験】舞踊



11月9日【文化体験】和菓子づくり



11月11日【地域住民・関係者との歓送会】

フィリピン（訪問地：千葉県）



11月8日【学校交流】大原高等学校



11月9日【表敬訪問】いすみ市長



11月9日【文化体験】太巻き寿司づくり



11月9日～11日【ホームステイ】



11月11日【地域住民・関係者との歓送会】

ラオス（訪問地：大阪府・奈良県・三重県）

	
11月8日【地域産業・企業視察】 カップヌードル・ミュージアム	11月9日【学校交流】大阪学院大学
	
11月9日【学校交流】大阪学院大学	11月9日【文化視察】東大寺
	
11月9日～11日【ホームステイ】	11月11日【地域住民・関係者との歓送会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ タイの学生

日本語の勉強を始めたきっかけは、日本語を話すようになって、自分で日本を訪れてみようと思ったことです。実際に来日して、ホームステイを経験し、いろいろな人が日本語で話すのを聞いていて、益々積極的に日本語でコミュニケーションを取りたくなりました。また、大学進学での学部選びでもはっきりと決心をつけることができました。オリエンテーションや日本理解の講義では詳細な情報をご教示いただいたことに感動しました。思っていたことがそうでなかったりして、誤解していることがあることも知り、大変良い勉強になりました。学校交流が大変印象に残っています。日本人学生の素晴らしい太鼓のパフォーマンスからは、大変な努力が伝わってきました。また、企業や地方

自治体での訪問時、私達に日本の事をとてもわかりやすく、たくさん教えてもらうことができました。

◆ タイの学生

学校交流はとても楽しく、皆とても気さくで、緊張を感じませんでした。学校交流では部活の多様さや、日本人学生の可愛らしさ、明るさ、誠実さ、優しさを知ることが出来ました。難しい太鼓も楽しく教えてもらい、なんとか太鼓を打つことができました。地方自治体の方々は私達を温かく歓迎し、全てのアクティビティに同行して説明して下さいだったので、内容がとてもよく理解でき、大変良かったと思います。ホームステイが一番感動しました。最初は家族の方とうまくやっていけるかどうか心配でしたが、ユーモアに富んだ家庭で、皆とても優しく迎え入れてくださいました。足りないものはないか等いつも気に掛けて下さり、家族の一員になったような気分でした。文化交流時、特におじさんやおばさん達は親切で、とても可愛らしい方々でした。最後に、プログラム中、ずっとおいしい食事をいただくことが出来ました。ありがとうございました。

◆ フィリピンの学生

プログラムは、全てとても良いものでした。日本理解講義では、日本人の生活様式をはじめ、多くの事を学びました。学校交流プログラムではフレンドリーな先生や生徒の皆さんと一緒にとても楽しい時間を過ごしました。訪問した学校がとても好きになり、日本の学校で勉強したいと思うようになりました。市役所では、私達を市議会の議場に案内していただき、驚いたことに議員席に座らせてもらうことができました。ホームステイでは、私達の話す日本語があまり上手でないため、最初は緊張しましたが、ホストファミリーの方たちはとても親切にしてくれました。私達を本当の家族の様に接してくれました。また、お寺や神社や博物館を訪問したり、太巻き寿司を作ったりと、とても素晴らしい経験をしました。美しく清潔なだけでなく、礼儀正しく、親切で寛容な国である日本を心の底から楽しむことができました。

◆ ラオスの学生

大阪学院大学を訪問し、様々な国からの留学生達が日本語を学んでいる授業に参加し、日本語で会話をしたこと、そして日本人の学生とも初めて会話が印象に残りました。彼らと日本語で話げたことは、とても嬉しく感動的でした。会話を通して多くのことを学びました。同時に外国人留学生や日本人学生がどのような大学生活を送っているかを知りました。日本への留学を希望する私にとっては、とても重要なことであり、本当に参考になりました。大学を選択するにあたって、この大学を選び、交換留学生になりたいという気持ちが強くなったからです。一つの選択肢を得ることができました。また、日本人の性格もとても印象に残りました。私は意識して日本人を見ていたのですが、日本人は時間を厳守し、礼儀正しく、とても友好的で、仕事に対する責任感がとても強いことが分かりました。私は、これから、日本人を見習って、時間を守るということを実施していきたいと思います。これは、仕事をする上でも、誰かと約束をした時でもとても大切なことだからです。そして、日本人と出会って、特に心を打たれたことは、礼儀です。これまで私は、あまり礼儀に注意を払いませんでした。今回、日本人の礼儀正しさに触れ、相手に対する思いやりや優しさを供えた礼儀正しさを見習うべきだと思いました。社会において、相手を尊重するということは、非常に意味のあること

だと思いました。

◆ ラオスの学生

私が感謝すべきことは、日本に到着したその時から、私がまるで重要人物であるかのようなきめ細かな対応をして頂いたことです。国の代表として参加したということを改めて自覚しました。プログラムでは、本やテレビしかで見たことがない日本の歴史的に有名なお寺や文化的施設を訪問しました。それらは私にとって想像の世界だったのですが、このプロジェクトが私の夢の世界を現実のものになるよう手助けしてくれました。それだけではありません、訪問した江戸時代の資料館では、昔の日本人の生活にも触れることができたのです。私たちが知らなかった昔の人達の考え方を学ぶことができました。それらは、未来を創るための新しいアイデアになるものだと思います。そしてなにより、ホームステイで、日本の家族のみんなと日本人のように生活をしたことが最も印象に残っています。私が出会った日本人はみんな私に関心を持って歓迎してくれました。三日間、家族の皆さんと生活する中で初めて経験することが沢山ありました。日本語を学ぶだけでなく、ラオスでは聞いたり読んだりしていただけた日本文化や生活を色々体験しました。JENESYS2018 の活動を通して、私は自分自身で日本の伝統文化、慣習、生活に触れ、たくさんを知ることができました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー（タイ学生受入れ）

ホームステイの受け入れをして、参加学生の素晴らしい人柄、国の違いなどを痛感し、また、たくさんの新しい発見をしました。同時に、改めて日本の良さも感じました。我が家に来た学生は、とても思いやりがあり、私の体を気遣ってくれ、家の物を貸してあげると、「ありがとうございました」とメッセージを書いてくれました。我が家に来た学生のチャレンジ精神や、少しでも多く日本を知りたいという興味は、日本人には、少なくなった心だと思いました。この学生の精神を私の孫も感じてくれたらうれしいと思います。

◆ 学生（岐阜総合学園高等学校）

タイの皆さんは、日本語も英語も話すことができ、すごいとおもいました。「これは何と言いますか」「これはどういう意味ですか」等、たくさんのことを聞いてくれて嬉しかったです。私たちの書道パフォーマンス時、タイの皆さんの驚いた表情を見て、とても嬉しかったです。書道を通じて、日本の文化を知ってもらえたと思うので、今度は、私がタイの文化を調べてみようと思いました。お互いの学校のことや書道パフォーマンスのこと等、思っていた以上に話をすることができてよかったです。

◆ 学生（千葉県立大原高等学校）

最初は、フィリピンの高校生が来ると聞いて、英語が話せなくて会話ができるのか不安でしたが、実際に会ってみて、フィリピンの生徒たちが明るく積極的に話しかけてくれたので、不安も消えて楽しく交流できました。フィリピンの生徒達からいただいたお菓子が、とてもおいしかったです。今回の交流を通して、海外への新しい繋がりを持てました。今後もこうした交流をする機会があれば、どの地域の人とでも、交流をしたいと思います。

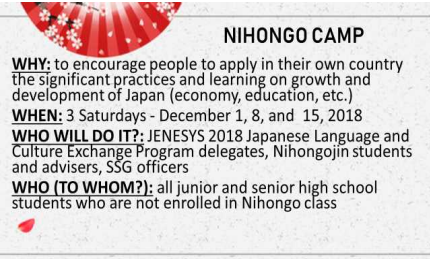
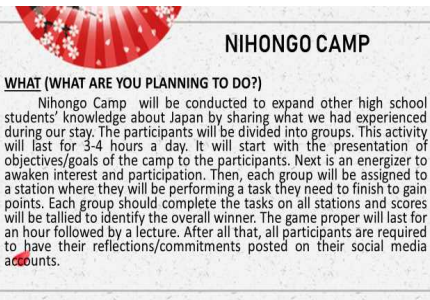
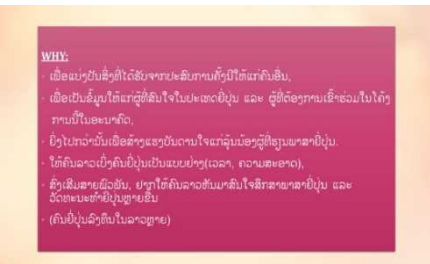
◆ 学校関係者（千葉県立大原高等学校）

今回の交流について、楽しみにしていた生徒が多くいました。交流の最後の送別セレモニーで、フィリピンから日本に来ていた本校の生徒が、日本の印象をフィリピンの高校生に語ったことも印象的でした。フィリピンの高校生たちの誠実で素直な姿勢に触れ、本校生徒も楽しそうに交流していました。この機会をいただけたことに感謝します。

6. 参加者の対外発信

	【タイ】 和菓子作りを体験しました。和菓子が出来上がった後、季節を感じて、見て楽しんで、食べて楽しんで。
	【フィリピン】 大原高校、いすみ鉄道に行きました。私たちが出会った日本の方々はとても素敵でした。また皆さんに会いに日本に戻ってきたいです。
	【ラオス】 大阪学院大学を訪問しました。説明を聞いたり、日本語授業に参加したり、日本に関するクイズなど、楽しく盛りだくさんのプログラムでした。そして、日本人学生と一緒に、学食で食事をすることもできました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 	【タイ】タイトル : From Us For Other プログラム中のビデオや写真をまとめて、日本で見たこと、学んだことを SNS などに投稿し、発信します。発信内容は、①日本語能力の向上に役立てても得るものにします。②多くの人に日本のことをもっと知ってもらい、日本に興味を持ってもらうものにします。③日本に興味を持っている人と経験を共有できるものにします。
 	【フィリピン】タイトル : 日本語キャンプ 経済、教育など日本の開発・発展について学び、自国で活用するため、今回のプログラム参加者である私たちと、日本語を学ぶ学生、学校の職員と一緒に、日本語クラスに参加していない中・高生を対象に、1日3～4時間程度、実施します。(具体的には) ① 参加者をグループに分け、日本について、回答数をポイント制としたクイズを実施します。参加者に日本語や日本についての知識を深めてもらいます。 ② キャンプ終了時には、参加者に、それぞれの発見、体験を SNS 等に投稿して、多くの人と共有してもらいます。
 	【ラオス】タイトル : KYOKARA-今日から訪問した3都市 Tokyo・Osaka・Nara からタイトルを考えました。 ① 日本の文化・慣習・社会・生活を SNS 活用して発信します。 ② セミナーを開いて PPT やビデオ、日本に関するクイズ等の活動を実施します。セミナーの参加者に、私たちの体験を伝え、日本に関心を持ってもらい、また、日本語を学んでいる学生のモチベーションを高めたいと思います。(特に日本人の「時間厳守」をラオス人のお手本にしてほしいと思います。)